



旭川市場

黒皮の逸品 でんすけすいか初出荷

- 組合のあゆみ 2
- でんすけすいか初出荷 3
- JA当麻役員研修 4
- 足あと 5
- 各部会現地研修会・出荷規格検討会 ... 7

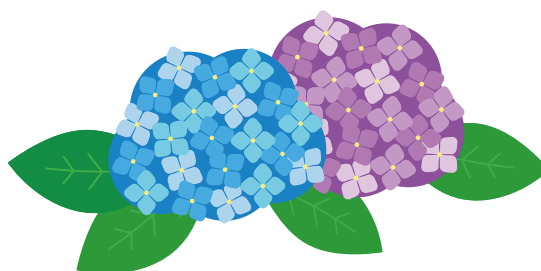
- 資材課からのお知らせ 8
- JAグループからのお知らせ 10
- みんなの広場 11
- JATOHMA information 12



組合のあゆみ

2	役員視察研修(4日迄 関西方面 全役員)
5	東野ひでき上川地区後援会全体会議 (JA上川ビル 組合長・専務・参事)
	上川地区農業協同組合長会議 (JA上川ビル 組合長)
	上川地区農協組合長役員会 (JA上川ビル 組合長)
	上川地区農協政治連盟会議 (〃)
	上川地区農協組合長会総会 (〃)
6	上川生産連 通常総会 (〃)
	上川生産連 理事会 (〃)
	クミアイ自動車学園通常総会 (〃)
	クミアイ自動車学園理事会 (〃)
	上川地区米麦改良協会役員会 (〃)
	上川地区米麦改良協会通常総会 (〃)
10	第41回理事会
	東野ひでき 北海道総決起大会 (札幌市 組合長・参事)
12	JA北海道中央会定期総会 (札幌市 組合長)
	ホクレン第139回通常総会 (〃)
	北海道信連第77回通常総会 (札幌市 組合長)
	北海道農業信用基金協会第63回通常総会 (〃)
13	北海道厚生連第77回通常総会 (〃)
	全共連業務報告会 (〃)
	情報センター第15回定時株主総会 (〃)
	北海道農業信用基金協会理事会 (〃)
14	第27回参議院議員通常選挙自民党北海道六区選挙 対策本部 事務所開き (旭川市 組合長)

20	でんすけすいか初出荷対応 (札幌市・旭川市 常勤)
23	道北地区JA専務協議会 通常総会・専務会議 (JA上川ビル 専務)
	第42回理事会
25	でんすけすいか初出荷関係機関あいさつ対応 (旭川市 組合長)
	生産組織代表者会議 (大ホール 全役員)
26	北海道農協畑作・青果対策本部委員会 (札幌市 組合長)
27	上川地区農協監事協議会第76回通常総会・夏期研 修会 (JA上川ビル 監事団)
	上川中央部農協経営研究会定期総会 (旭川市 参事)
30	上川地区米対策委員会 (JA上川ビル 組合長)
	上川地区農協畑作青果対策委員会 (〃)



理事会報告

理事会が開催され次の事項が審議されました。

[第41回理事会]

令和7年6月10日

- 議案第1号 自己資本比率算出要領の一部改正について

[第42回理事会]

令和7年6月25日

- 議案第1号 令和7年産米出荷契約金について
- 議案第2号 カスタマーハラスメント対策基本方針の制定について
- 議案第3号 固定資産の取得について
- 議案第4号 共同利用施設等設備資金借入について
- 議案第5号 組合員の異動について



福井代表理事組合長 ホクレン代表監事に就任

ホクレン第139回通常総会が6月12日に開催され決議事項について審議されました。代表監事であった東野秀樹氏の退任により役員の補欠選任が提案され、当JAの福井代表理事組合長が選出されました。総会終了後に開催された監事会において代表監事(非常勤)に選ばれ、就任をいたしました。任期については、残任期間である令和8年6月までとなります。

当JAからの北海道農業協同組合連合会役員は 故 物井 清人氏のホクレン代表監事(平成11年6月～平成14年6月)、北海道信連経営管理委員会 会長(平成14年6月～平成17年6月)以来の選出となりました。

6月20日

でんすけすいか 旭川・札幌市場で初出荷

初競り

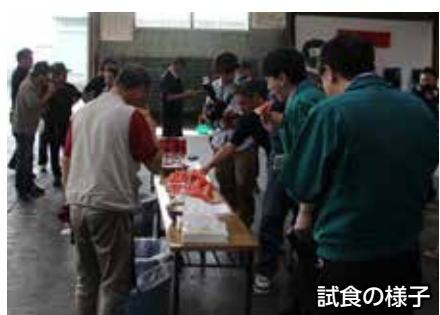
旭川市場 70万円
札幌市場 60万円



札幌市場



競りの様子



試食の様子

6月20日に旭川市場と札幌市場で当麻町の特産品「でんすけすいか」の初競りが行われました。旭川で1玉（秀5L）70万円、札幌で1玉（秀5L）60万円となり、いずれも3年連続、過去2番目の高値で競り落とされました。

本年は降雪量が平年よりも少なく、3月は好天が続いたことで融雪が順調に進みました。4月は昨年より日照不足が続く、日中の温度確保が難しく生育が遅れ、5月になると日照量もあり順調に生育しましたが強風、低夜温といったむずかしい管理環境の中、生産者の加温機・被覆資材を活用した保温管理や日々の天候に対応し仕上がりの良いすいかとなりました。6月19日に初収穫が行われた2戸の圃場では、でんすけすいかの熟し具合を確認するため軽くたたいて音をかめながら収穫され、丁寧に磨きをかけて箱詰めしたあと、集荷場にて検査を受け、旭川市場へ70ケース、札幌市場へ113ケースが出荷されました。



初競り価格最高値

今後は7月上旬より出荷量が増え、ハウス出荷最盛期は7月中旬、露地栽培出荷最盛期は例年同様、7月25日頃の予定となっております。

当地として昨年以上の高品質で安全・安心なでんすけすいかの出荷に向けて生産者一丸となり、本年も美味しいでんすけすいかの生産、そして消費者に喜ばれるすいか作りに努めてまいりますので、ご愛顧のほどよろしくお願いいたします。

【旭川市場 70万円】
（株）道北アークス 様



【札幌市場 60万円】
（株）うおはん 様



JA当麻役員研修

日 程 令和7年6月2日～6月4日迄

視察先 関西方面

関西地方の流通・販促と最新技術の視察として6月2日～6月4日に関西地方の市場動向と最新技術の理解を深めることを目的に、JA 当麻役員研修が開催され、ホクレン大阪支店との研修会および未来の農業技術の視察を目的に大阪万博会場を視察いたしました。

初日は、ホクレン大阪支店より、関西の流通・販促と米穀市場について学びました。

関西特有の食文化を踏まえた米穀のブランド戦略や販促事例について紹介され、地域ニーズに応じたパッケージデザインの重要性を強調し、具体的な成功事例が今後の参考になりました。さらに、全国需給情勢として、随意契約による備蓄米30万トンの受渡し申し込みが開始されたこと、SBS（売買同時入札）枠外輸入の増加、7年産主食用米の作付け増加が今後の需要に影響する可能性を指摘し、引き続き販売動向の注視が必要であると述べられました。

政府備蓄米の買戻し条件付き売渡しについては、制度改正により国が売渡しを決定し、北海道は全農が応札する枠組みに参画し、第3回までに31.2万トン（うち北海道産1万8千トン）の落札が決定しましたが、第4回は入札中止となり、随意契約による受渡しへと変更する形となりました。

北海道米の販売状況については、「ななつぼし」は1月に相対価格の改定に伴い、引取りが進んだものの、販売計画の減少による販売抑制により、前年を下回っております。「ゆめぴりか」については、基準品での販売をメインで行っており、これまで築き上げた北海道米価値の確保に向けて、販売展開を行っております。全道共販参加計画は259千トン（前年産対比▲8千トン）であります。令和7年産販売計画の28万トン必達に向けて、各産地の課題解決に向けた取り組みを通じて、集荷最大化への協力を行っていくとの事です。

翌日は、大阪万博会場を訪れ、最新の農業技術を視察いたしました。あいにくの雨天でしたが、クボタが展示する無人トラクターを中心としたスマート農業技術を見学し、自動運転機能やAIを活用した精密農業のデモンストレーションを通じて、労働力不足の解消や生産性向上への可能性を学びました。

特に、無人トラクターのリアルタイムデータ解析や環境適応型の操作性は、参加者に強い印象を与え、将来の農業経営に向けた導入の可能性について活発な意見交換が交わされました。その他、持続可能な農業をテーマにしたパビリオンでは、循環型農業や省エネルギー技術の展示も見学し、事業戦略に取り入れるべき新たな視点を得ました。

今回の研修会および視察を通じて、関西市場の特性を踏まえた販売戦略の重要性と、スマート農業技術の進化がもたらす可能性を改めて認識いたしました。これらの学びを活かし、市場競争力の強化と持続可能な農業経営に向けた具体的な施策に繋がるよう役員一同取り進めてまいります。



6月4日
～6日**牧草現地確認を実施**

農業センターでは、6月中旬からの牧草収穫を前に4日から6日にかけて産地交付金に伴う牧草作付者を対象とした現地確認を実施いたしました。



6月12日

**JA女性部環境美化運動
町内のゴミ拾いを実施**

農協女性部では環境美化運動の一環として、13名の部員が3班体制で駅前から当麻小学校、スポーツセンター周辺までのゴミ拾いを実施いたしました。和気あいあいとした雰囲気の中、1時間ほど作業を行いました。終了後に行われた昼食会では、日々の活動について活発に意見交換が交わされ、部員同士の親睦を図れました。

今後も町やJA活動に積極的に参加し、活気のある明るい女性部を目指し活動してまいります。



6月13日

**でんすけすいかの試し切りが
行われる**

でんすけすいかの初出荷に向け、試し切りが6月13日に集荷場3棟目にて行われました。内部品質も良好で、玉の大きさは7kg～9kg台の2L～4Lサイズで糖度も十分に乘っており、でんすけ特有のシャリ感も感じられ、最良な状態で出荷できることを確認し、19日に収穫、20日に初出荷が決定いたしました。



6月16日

**牧草の刈り取り・
収穫作業行われる**

当麻町牧草生産部会では6月16日より、牧草の刈取り作業を開始致しました。

作業は天候に左右されながらも適期に進められ、23班体制で約482ヘクタールの牧草地をディスクモアで刈り取り、テッターで反転させ水分を抜いたあとロータリーレーキで集草し、ロールベアラーでロール状に梱包し収穫されます。



6月21日

JA当麻直営農産物直売所オープン 採れたて新鮮!安全・安心な当麻農産物を販売!!

JA 当麻直営農産物直売所がオープンいたしました。店内には今摺米やでんすけすいか、きゅうり、ミニトマトをはじめ生産者が収穫したばかりの農産物が陳列棚に並び、「旭山ポーク」も種類豊富に取り揃えております。

また、今年から新たに登場した「でんすけすいかドロップス」、「米ぬかりップセラム」も直売所にて販売しております。

今年度につきましても、町内へのチラシ折込を行い、オープン前に並んでいる方々も見受けられ、午前11時オープン後にはでんすけすいかや新鮮な野菜を次々にご購入いただきました。

直売所では、生産者の新鮮で安全・安心な農産物を消費者へ販売する架け橋として、産消提携を実践し、当麻農産物の有利販売に努め、地元住民や観光客の皆様に食べていただき、農産物PRと地元で愛される地域密着型の直売所を目指してまいります。

今年も新鮮な野菜をはじめ、たくさんの品揃えでお待ちしておりますので、よろしくお願いいたします。



場 所：当麻町宇園別2区（道の駅とうま並び）

営業時間：AM10:00～PM4:00

定休日：水曜日

お問い合わせ先 0166-84-3131

**発送も
承ります!**

6月25日

生産組織代表者会議

農協3階大ホールにて、米穀部門と施設園芸部門による生産組織代表者会議が行われました。

始めに、米穀部門では、令和6年産米の米価高騰と備蓄米の放出による米穀情勢及び令和7年産米水稻出荷契約状況、生育状況について報告があり、今一度一元集荷へのご理解とご協力をお願いいたしました。

続いて施設園芸部門では、品目別の出荷状況と南瓜の省力化栽培の経過報告が行われました。

また、資材課より園芸作物の成り疲れ対策や稲の倒伏防止対策の各種資材情報の提供が行われました。



各部会現地研修会・出荷規格検討会

5月29日 キュウリ部会現地研修会

場 所：東1区 高橋 佳靖さん宅圃場

講 師：埼玉原種育成会 森田氏

埼玉原種育成会 森田氏より今後の栽培管理として、晴天日のハウス内温度は27～28℃を目標とし、30℃以上の高温にならないよう、早めかつ段階的な換気を心がける必要があり、急な換気は「芯焼け」のリスクを高めるため注意が必要。灌水は萎れる前に与えることを基本とし、土壌の乾燥具合だけでなく、葉の色つや、枝の伸長具合など、きゅうりの状態を総合的に観察してタイミングを判断する。収穫が本格化すると、果実の肥大に必要な水分量が増えるため、こまめな灌水が必要。収穫のピーク後には「成り疲れ」による肥料切れが起きやすいため、収量に応じて液肥を施用し、木の勢いを維持する。また、収穫においては、木への負担を軽減するためにMサイズ以下での若採りを徹底し、特に主枝の果実は小さめに収穫することが、株全体の勢いを保ち、長期的な収量を確保する上で効果的といった説明がなされました。

次に普及センターより今年の3月から5月までの気象経過と3か月予報、ホモプシス根腐病の特徴と大量発生しているマイマイガの生態と注意点について説明がありました。



6月3日 でんすけ部会現地研修会

場 所：宇園別2区 辻 和博さん宅圃場

講 師：(株)萩原農場 野村氏

立ち作り栽培を試験的にやっている辻さんの圃場にて現地研修会が開催されました。(株)萩原農場 野村氏より、今年の気象条件を踏まえた栽培管理として、生育の遅れを取り戻そうと無理に地上部の成長を促すと、根張りが不十分になり、後半の玉肥大や糖度上昇に不可欠な養水分を十分に吸い上げられなくなるためじっくりと健全な木作りに徹すること。また、初期肥大期の管理として、午前中にハウス内の温度と湿度を十分に確保し、玉伸びの促進と空洞果の発生を抑え、午後はしっかりと換気を行い、病気の発生を防ぐこと。収穫前の水切りは、「必要以上の水やりを控える」という意味合いで捉えることが重要であり、果実の水分を減らして糖度を濃縮させるよりも、収穫の最後まで株を健全に保ち、光合成で糖を作り続けさせる方が、甘いスイカを作る上でより効果的なことから株の状態や天候をよく観察し、適切な水分管理を判断することが重要となるといった点が挙げられました。

次に普及センターより今年の3月から5月までの気象経過及び今後3か月予報、注意する病害虫としてハダニ類や果皮リング症状の対策について説明がありました。



6月24日 キュウリ部会、トマト部会、でんすけ部会、南瓜・メロン・葉菜豆部会 4品目合同出荷規格検討会

集荷場2・3棟目にて各市場担当者出席の中、出荷規格検討会が開催されました。

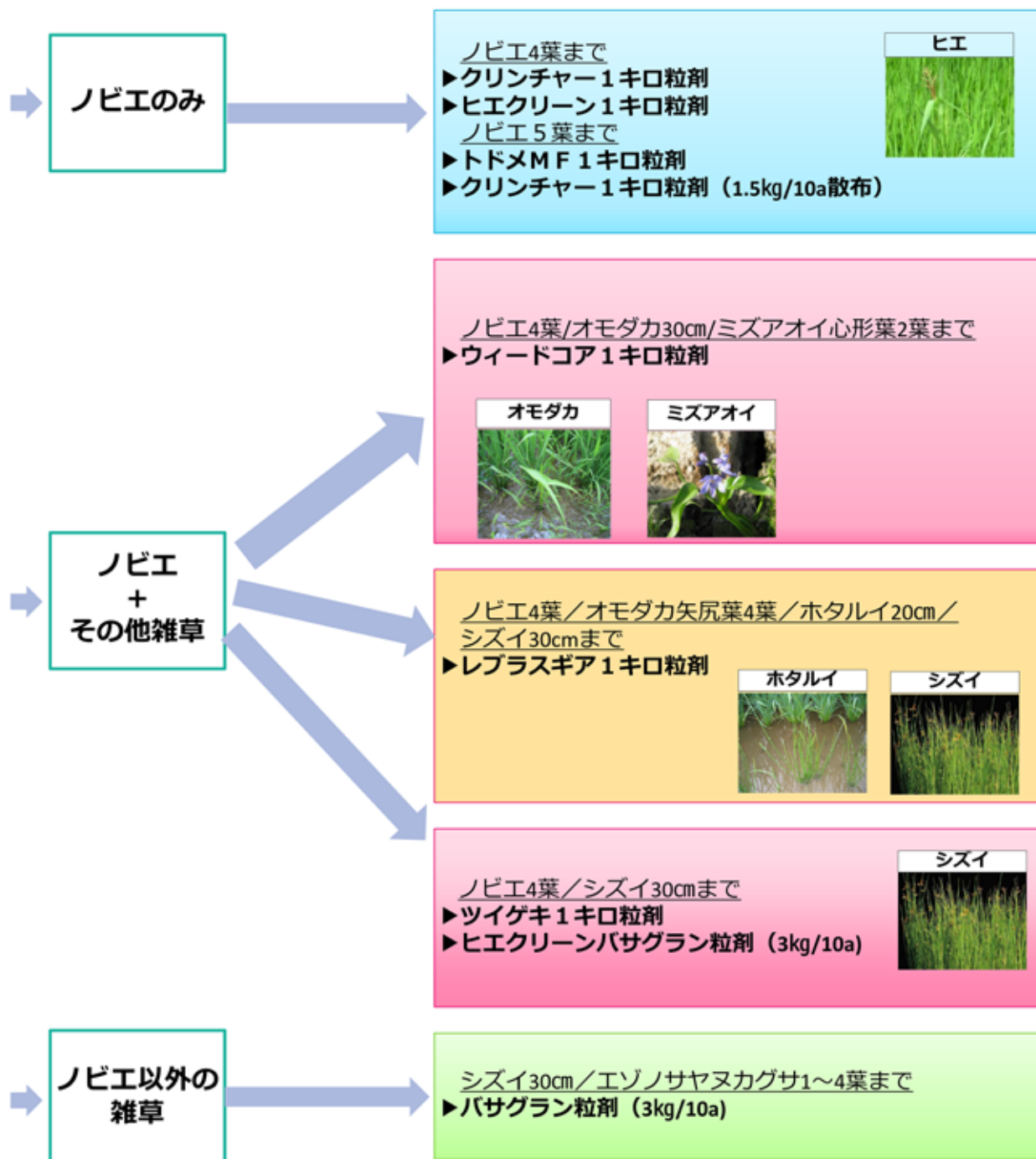
各部会担当者より各品目の今年度の申し合わせ事項、出荷要領、出荷規格、出荷基準の確認が行われ、出荷最盛期を前に部会内の出荷規格の統一が図られました。

また、市場関係者から道内外の情勢報告も行われました。



令和7農薬年度 当麻農協おすすめ 水稻中後期除草剤のご案内すべてドローン
で散布できます。安定した効果を得るには適期散布が重要です！
お早めに圃場確認をお願いします。

お困りの雑草は何ですか？



詳細につきましては、当麻農協資材課（84-2600）へお問合せください。

資材課からのお知らせ

《水稻残草対策》 ドローン散布のご案内

ドローンで中後期剤散布を行っております。

- ◆機械を入れないため圃場や稲を痛める心配がありません。
- ◆事前に圃場を確認し、発生雑草に有効な薬剤の選定を行います。
- ◆散布料金は、10a当たり1,100円（税込）です。

※有機や無農薬圃場と隣接している等散布できない圃場もあります。

お早めに資材課へご相談ください。



JA 当麻 資材課 0166-84-2600

当麻宇園別スタンド 営業時間変更のお知らせ

通常営業(繁忙期)

4月、5月、9月、10月

営業時間：8:00～18:00

営業時間短縮(その他の月)

1月～3月、6月～8月、11月～12月

土曜、祝日

営業時間：8:00～17:00(1時間短縮営業)

大変ご迷惑をお掛けしますがご理解ご協力の程、お願いいたします。

お問い合わせ

JA当麻 資材課:84-2600 市街スタンド:84-5097 宇園別スタンド:84-2637

JAグループからのお知らせ

その時、あなたは

食の未来も選んでいます。



日々のお買い物や食事は子どもたちの食の未来につながっています。食料の約6割を海外に頼る日本。いざという時に食料に困らないためにはどうすればいいのでしょうか。それには……

JAグループサポーター 林修



私たちの国で

消費する食べものは、



できるだけこの国で生産する

国消国産

を進めていくことが大切です。そのために私たちが普段からできることは、「国産を選んで食べる」こと。それは、子どもたち世代の「食の未来を選ぶこと」なのです。

地産地消は、あなたにも、

地域にもいいこといっぱい。



- 地域でとれたものを食べる
- JA直売所で買う
- 売り場で国産を選ぶ
- 外食の時にも国産食材を使っているお店を選ぶ

それが「国消国産」を進めるために私たちができること。「地産地消」と「国消国産」が、日本の食と農業の持続につながっていきます。



耕そう、大地と地域の未来。JAグループ



食卓を彩る 旬のレシピ

赤堀料理学園校長 赤堀博美

東京都文京区小石川生まれ。管理栄養士、日本女子大学大学院食物栄養学専攻修了。日本女子大学非常勤講師、十文字学園女子大学非常勤講師、日本フードコーディネーター協会常任理事。



材料 4人分

イワシ	4尾	しょうゆ	大さじ2
A しょうが汁	小さじ1	みそ	大さじ1
しょうゆ	小さじ2	揚げ油	適宜
みりん	大さじ4	片栗粉	適宜
酒	大さじ4	サヤインゲン	4本
砂糖	小さじ4		

ポイント

イワシは包丁を使わず手開きでおろせます。中骨は素揚げして骨せんべいにしてもおいしいです。

イワシのかば焼き

とっておき旬のレシピ

作り方

〈下ごしらえ〉

イワシは手開きし、頭や内臓、骨、背びれなどを除きAを混ぜたものに15分漬ける。サヤインゲンは筋を取って塩ゆでし、水を切ってから鍋に戻し、砂糖・塩各少々(分量外)を加えて強火で汁気がなくなるまで煮て3cm長さに切る。

- ①たれを作る。みりんを煮切り、酒、砂糖、しょうゆを入れて少し煮詰めてみそを加え、とろみが付くまで弱火で煮て火から下ろす。
- ②イワシの水気を拭き、片栗粉をまぶして熱した油で揚げます。油が切れたら①のたれの中に漬ける。
- ③②を皿に盛り、サヤインゲンを添える。

タテのカギ

- ① 国際博覧会(万博)には——各国が出席します
- ③ 朝顔に——とられてもらひ水(千代女)
- ⑤ 官の対義語
- ⑥ 合格を目指して受けることも
- ⑦ 二十四節気のひとつ。令和7年8月23日です
- ⑨ 悪夢を食べるといわれる想像上の動物
- ⑪ 旧国名のひとつ。今の滋賀県あたり
- ⑬ 人が並んで作るもの
- ⑮ コイン——に荷物を入れた
- ⑰ 紙幣のすかしは——防止策のひとつです
- ⑲ 魚などの内臓のこと
- ⑳ あぶく。ソーダからたくさん出ます
- ㉑ 半透明でプルプルした洋菓子

6月号の答えは…

A	B	C	D	E
ネ	ガ	イ	ゴ	ト

ヨコのカギ

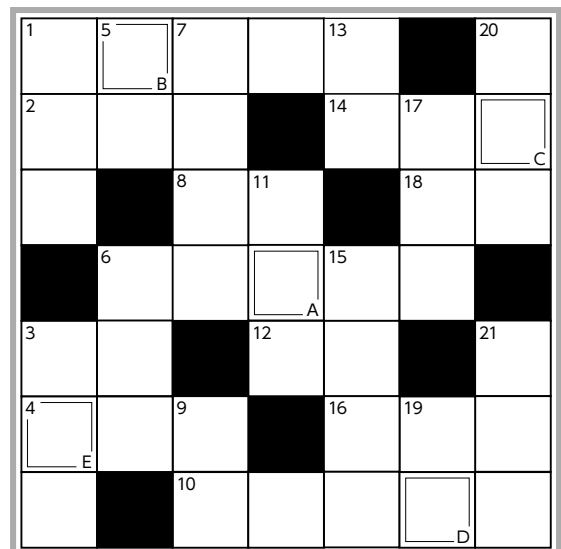
- ① ミーンミン、シャワシャワ、カナカナ……
- ② 物事にかかわりを持つこと
- ③ 代金は今度まとめて払うね
- ④ 西田 佐知子のヒット曲、「コーヒー——」
- ⑥ さだまさしの名曲「——流し」で歌われているのは長崎県などです
- ⑧ お盆の行事
- ⑩ スイカにかけられる人もいます
- ⑫ 2分の1がハーフなら4分の1は
- ⑬ チョウが吸うもの
- ⑮ 台木にくっついたり挟んだりして育てます
- ⑰ もう一杯、お——!
- ⑲ 鼻の長い動物

1	ラ	ジ	オ	タ	イ	ソ	ウ
		6	ビ		13	バ	ス
2	ト	ク		11	カ	ラ	ウ
			10	テ	ガ	キ	リ
3	オ	オ	ナ	ミ		16	キ
			ア	ン		ハ	ネ
4	ソ	フ	ト	ド	リ	ン	ク

頭の体操

クロスワードパズル

二重マスの文字を、A～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか?



JA TOHMA Information

第27回 上川農試公開デー

上川農業試験場では、みなさまに試験場の仕事を知っていただくため、公開デーを開催いたします。入場は無料で、雨天でも実施します。みなさまのご来場をお待ちしています。

日時 8月6日(水) 10:00 ~ 13:00
場所 上川農業試験場
 (比布町南1線5号)

研究ほ場見学バスツアー、いろいろ体験コーナー、何でも農園相談(土や病害虫の診断も)、農業機械の紹介、クイズラリー、地元特産品販売など。ほか林産試験場から木を使った体験コーナーも予定しています。(内容は変更する場合があります)

問い合わせ 上川農業試験場 ☎85-2200



令和7年度 JA当麻 野菜集荷場 受入カレンダー

7月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

8月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24 31	25	26	27	28	29	30

の印は受け入れ休みとなりますので、ご協力をお願い致します。

JA当麻 No.657

発行日 令和7年7月

発行 当麻農業協同組合

編集 管理部総務課

住所 上川郡当麻町4条
東3丁目4番63号

電話 0166-84-2121

JA当麻ホームページ

URL <https://www.ja-tohma.com>

QRコード



編集後記

◆今年の7月も平年よりも気温が高いという予報になっており、早めの暑さ対策はもろろのことですが、昨年の7月下旬には記録的な大雨が記録されたことから空模様の変化にも注意が必要です。

◆暑い日が続くとアイスクリームが食べたくなる日が多くなります。パッケージの裏にある「種類別」の表示を気にしたことはありますか？実は、アイスは法律で「アイスクリーム」「アイスミルク」「ラクトアイス」「氷菓」の4つに分類されています。これは乳成分の量で決まり、乳脂肪分が8%以上というリッチなものが「アイスクリーム」。乳成分が少なく、植物性脂肪が使われることが多いのが「ラクトアイス」。果汁などを凍らせたものが「氷菓」です。この違いを知ると、「今日は贅沢に『アイスクリーム』にしよう」とか、「お風呂上がりだからさっぱり『氷菓』がいいな」というように、いつものアイス選びがもっと戦略的で、奥深いものになりますね。

(谷口)